

西中だより

平成27年度 No.11
平成27年 8月27日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 夏休み中、がんばっていた部活動の様子から &&&

【特設陸上部・駅伝部】

- 今年の夏休みは、前半は猛暑が続きました。そんな中でも生徒達は目標に向かって、一生懸命練習に取り組んでいました。特に、特設陸上部は、暑くなる前の早朝練習に汗を流していました。同じように、駅伝チームは、揃って走り込みを行っていました。私も早目に出勤しましたが、それ以上に早くから登校し、練習に励んでいた生徒達と指導する先生の姿には、熱いものを感じました。



【吹奏楽部・特設合唱部】

- 「おはようございます」と元気な挨拶が私を迎えてくれました。挨拶をしてくれた生徒の手には箒が握られています。私はありがたいの気持ちを込めて「ご苦労様」と言葉を返すだけです。土曜日も日曜日にも練習に励む姿を目にして、少し逞しさを感じました。生徒達一人一人が何かを身に付け、大きく成長していると感じたからです。
- 講師の先生方を迎える姿も「おもてなし」の心が感じられました。一つ一つの話に「はい」と気合の入った返事が聞こえます。先生の指揮棒を見つめる眼差しには、鋭さが増してきました。表情も落ち着き、少しずつ自信が感じられました。
- 夏休み前から始まった特設合唱部の練習も毎日時間を決めて、短く集中して行われました。8月20日、須賀川市文化センターで行われた合唱祭では、見事に「金賞」を受賞しました。惜しくも県大会へは出場できませんが、“なせば成る”ということが実証されたことは、参加した生徒達一人一人にとって、おおきな自信につながったと確信します。



《 校長のつぶやき 》・・・荒井直樹（前橋育英高校野球部監督）氏の話から・・・

- 高校野球の時期になるといつも思い起こすことなので、また引用し紹介します。参考にしてください。
「 予算は少なく、設備は悪く、グラウンドは荒れていた。監督は、毎日自ら石拾いをしながら選手と共にグラウンドの整備に努めた。（荒井：最低限の物があれば、あとはチーム次第である。）」
「 1日3時間以内の練習。特に、守りの練習に時間を使う。「凡事徹底（ぼんじてっい）」小さな努力の積み重ねで、大きな事ができる。（荒井：打撃は好投手の時には打てない。しかし、守りはいつでも練習した分だけ力を発揮する。）」
「 エラーしても叱らない。それをカバーに行かない選手を叱る。（荒井：試合にエラーはつきもの。エラーしたら、その次のプレーを常に考えよ。一つのプレーについて、起こりそうなことは3つある。）」
「ミスはミスで終わらさない。ミスした後の対応力が勝利をつかむ。これが、攻撃的守備である。」
～ 何か学習や生き方に共通する点があると感じた。誤りは過去である。過去にこだわるよりも、その次の未来にどのように対処していくかを考えることが大事であることを学んだように思う。～

